

(1) L3スイッチ

	<p>10/100/1000BASE-Tのインターフェースを48ポート以上有すること。</p> <p>SFP/SFP+スロットを4つ以上有すること。</p> <p>拡張スロットを1つ以上有していること。</p> <p>IEEE 802.3z 1000BASE-LX/SX、IEEE 802.3ab 1000BASE-Tに準拠したSFPを搭載可能なこと。</p> <p>IEEE 802.3an 10GBASE-Tに準拠したSFP+(Small Form-factor Pluggable+)を搭載可能なこと。</p> <p>ネットワーク分離機能（ポートベースVLAN、タグベースVLAN）に対応可能なこと。</p> <p>リンクアグリゲーション機能を有すること。</p> <p>静的および動的ルーティングプロトコルに対応可能なこと。</p> <p>スタックケーブルで機器間を接続することにより、仮想的に1台の装置として扱うことができる、スタック機能を有すること。</p> <p>特殊フレームの送受信によりループを検出する機能に対応し、ループを検出した場合には、ポートをリンクダウンさせるなど設定した動作を自動実行可能なこと。</p> <p>時刻同期を行うためにNTP（クライアント/サーバー）機能を有すること。また他のNTPサーバーに同期していない場合であっても、装置単体で権威のあるNTPサーバーとして動作することが可能なこと。</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p>
その他	<p>日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。</p> <p>QoS機能を有しており、帯域制限、輻輳制御、優先制御が可能なこと。</p>

(2) フロアL2スイッチ

	装置単体で10/100/1000BASE-Tのインターフェースを24ポート以上有すること。
	ネットワーク分離機能（ポートベースVLAN、タグベースVLAN）に対応可能なこと。
	リンクアグリゲーション機能を有すること。
	静的および動的ルーティングプロトコルに対応可能なこと。
	時刻同期を行うためにNTP（クライアント/サーバー）機能を有すること。また他のNTPサーバーに同期していない場合であっても、装置単体で権威のあるNTPサーバーとして動作することが可能なこと。
	SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。
	Syslogサーバーへログを転送できること。
その他	日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。
	QoS機能を有しており、帯域制限、輻輳制御、優先制御が可能なこと。

(3) PoEスイッチ

	装置単体で10/100/1000BASE-Tのインターフェースを24ポート以上有すること。
	装置単体でSFPスロットを4つ以上有すること。
	IEEE 802.3af準拠のPoE、およびIEEE 802.3at準拠のPoE+機能を持ったポートを24ポート以上搭載していること。
	給電電力については調達する無線アクセスポイントの仕様を考慮すること。
	時刻同期を行うためにNTP（クライアント/サーバー）機能を有すること。また他のNTPサーバーに同期していない場合であっても、装置単体で権威のあるNTPサーバーとして動作することが可能なこと。
	SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。
	Syslogサーバーへログを転送できること。
その他	日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。

(4) L2スイッチ (24ポート)

	<p>10/100/1000BASE-Tのインターフェースを24ポート以上有すること。</p> <p>ループ検知機能を有していること。</p> <p>時刻同期を行うためにNTP (クライアント/サーバー) 機能を有すること。また他のNTPサーバーに同期していない場合であっても、装置単体で権威のあるNTPサーバーとして動作することが可能なこと。</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p>
その他	<p>日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。</p> <p>装置固有のベンダー定義MIBが存在する場合にはそのMIB仕様を公開すること。</p> <p>電源内蔵型とすること。</p> <p>マグネットで金属面に取付が可能であること。</p>

(5) L2スイッチ (16ポート)

	<p>10/100/1000BASE-Tのインターフェースを16ポート以上有すること。</p> <p>ループ検知機能を有していること。</p> <p>Telnet (クライアント/サーバー) 機能およびSecure Shell (クライアント/サーバー) 機能を有すること。</p> <p>時刻同期を行うためにNTP (クライアント/サーバー) 機能を有すること。また他のNTPプログラムに接続していない場合であっても、装置単体で機能のあるNTPプログラムとして動作することが可能なこと。</p> <p>PTPトランスペアレントクロック(IEEE1588v2)に準拠した時刻同期機能を有すること。(但しライセンス適用は可とする)</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p>
その他	<p>日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。</p> <p>電源内蔵型とすること。</p> <p>マグネットで金属面に取付が可能であること。</p>

(6) 無線アクセスポイント

	100/1000BASE-Tのポートを2ポート以上搭載していること。 Wi-Fi規格及びIEEE 802.11a/802.11b/802.11g/802.11n/802.11ac/802.11axに準拠していること。※Wi-Fi6以上対応 暗号化機能が利用可能であること。 無線LANコントローラーにて管理ができること。 時刻同期を行うためにNTPクライアント機能を有すること。 SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。 Syslogサーバーへログを転送できること。 日本語Web GUI (HTTP/HTTPS) に対応していること。
その他	日本語マニュアルをインターネット上に公開していること。 アクセスポイントが故障した場合を考慮し、近隣のアクセスポイントへ接続出来るよう設定をすること。 天井やケーブルラックへの取り付けが可能なモデルであること。

(7) VPNルータ

	<p>10/100/1000BASE-Tのインターフェースを、WAN接続用で1ポート以上、LAN接続用で4ポート以上有すること。</p> <p>ネットワーク分離機能（ポートベースVLAN、タグベースVLAN）に対応可能なこと。</p> <p>静的および動的ルーティングプロトコルを有すること。</p> <p>IPsec VPNに対応し、IKEv1およびIKEv2による鍵交換が可能であること。</p> <p>L2TPv3、OpenVPN、GREに対応していること。</p> <p>IPsecの同時接続可能セッション数は500以上であること。</p> <p>QoS機能を有しており、帯域制限、輻輳制御、優先制御が可能なこと。</p> <p>時刻同期を行うためにNTP(クライアント/サーバー)機能を有すること。また他のNTPサーバーに同期していない場合であっても、装置単体で権威のあるNTPサーバーとして動作することが可能なこと。</p> <p>SNMPエージェント機能を有し、SNMPv1/v2c/v3による管理が可能なこと。</p> <p>Syslogサーバーへログを転送できること。</p>
その他	<p>日本語取扱説明書および日本語コマンドリファレンスをインターネット上に公開していること。</p>